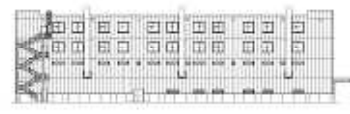


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大同工業株式会社座間工場	階数	地上4F
建設地	座間市相模が丘6丁目1527-3,4	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	60人
気候区分		年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年11月1日
敷地面積	1,611 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	850 m ²	確認日	2013年11月1日
延床面積	2,722 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

環境品質 Q (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

kg-CO₂/年・m²

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境: 0.0
Q2 サービス性能: 3.0
Q3 室外環境(敷地内): 2.7
LR1 エネルギー: 3.8
LR2 資源・マテリアル: 3.0
LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

項目	スコア
Q1 室内環境	0.0
Q2 サービス性能	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	2.7
LR1 エネルギー	3.8
LR2 資源・マテリアル	3.0
LR3 敷地外環境	3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺環境との調和を考慮し、外装材の選定、緑化計画を行った。	
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 耐久性の高い材料を選定し、必要更新間隔が長くなるよう配慮した。
LR1 エネルギー 高効率型照明を採用し、設備システムの高効率化を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 北側道路に緑地帯を設け、景観に配慮した。
	LR2 資源・マテリアル 節水コマ、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。
	LR3 敷地外環境 条例に基づき雨水浸透トレンチを設け、地域インフラへの負荷抑制に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される